
途切れなかった友情

kyuzu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

途切れなかつた友情

【コード】

N0364H

【作者名】

jyuzu

【あらすじ】

ちよつとしたことで喧嘩してしまう二人好きだった友達とはうまくいかないままなのか、

(前書き)

素直になれなくて、

これは本当にあったはなしである

ある日私の友達はずきだった男の子に告白をした

その結果はビミョーなOKであった

私はならいごとで親しかったためよくその男の子とはあそんでいた
最初は友達をすごくおうえんしていた

だけどだんだん男の子とあそんでいるうちにみるみる惹かれていった
はじめは友達を応援しなければ、、、とすきだつていうことを隠していた

でもだんだん友達を応援するのも自分自身がつらくなっていた

ある日私はともだちに男の子の事すきだつて伝えた

友達はひどくシヨックをうけていた

そのとき私はいわなければよかつたとすごく反省していた

だが反省していたのはそのときだけだったんだといまではおもう

私は一週間後にはその男の子に告白していた

結果はOKだった

OKだった理由はメルですごくなくなっていたからだとおもう

数日後、彼は友達をフルと言い出した

私は必死でとめた

なぜかつていうと友達に告白したことがバレてしまうからだ

そのことを私は彼にはなした

すると彼はお前とつきあうことになったからフルわけではないと
いってくれたので
とめるのをやめた

次の日私は友達からフラれたということを知った

私はもちろん知っていたでも友達にはだまっていた

彼と付き合い初めて一ヶ月くらいつと

やはり学校では噂がながれていた

それから3日後には友達に噂がいつていた
今まで彼とつきあっているかなんときかれたことだろう。なんども
きかれて私も彼もめんどくさくなつたせいか付き合っていることを
暴露した

それをきっかけに友達とは絶交した

私はその時これっぽっちもわるいとはおもっていなかった

他の友達からは仲直りしなよと何度もいわれた

それでも私は一度だつてあやまろうとはしなかった

だんだん日がたつにつれて友達と私は話すようになっていた

今まで暗かつた学校は一気に明るくなつた

私もすこしうれしかった

でもいまかんがえてみるとなぜ友達は私とこんなにも仲良くしてく
れるのだろうかと不安でたまらない

私が逆の立場だつたらどうだろうとおもっていた

でもそうおもっていたのはたつた数日だつた

私は友達にわるいとおもつたせいか

彼とは別れたと嘘をつくようになっていた

友達は完全に信じていた

嘘はよくないとおもい結局嘘をついていたことを言つてすごくあや
まつた

すると友達は何事もなかつたようにいいよと優しく声をかけてくれた
こんなことがあつてもとぎれなかつた友情。

これからもこの友情を誇りにおもつて一日一日をたのしくすごそう
と心からおもっている

(後書き)

あぢこくくくねてめじがやうし

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0364h/>

途切れなかった友情

2011年1月16日07時23分発行